



本堂すぐ近くに横たわる「宝牛」。願い事一つだけ頭に浮かべてなでると、それが叶うといわれています



大山寺山門手前の右手にたたずむ牛霊碑

かする気性の荒い博労たちも。当時は旅館もほとんどなく、市に参じた人々は牛馬と共に宿坊（僧侶の宿泊施設）に泊まりました。夜、牛の鳴く声が気になり、何度となく目を覚ましたものです。

そして、市が終わると不思議と大雨になり、牛馬の糞が流されていたのを覚えていきます。

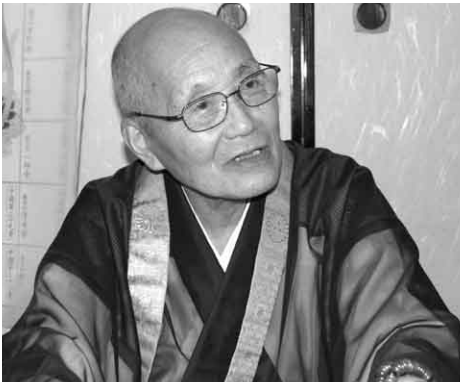
Q・10月の和牛博覧会で畜魂祭が催され、全国から和牛農家の

方が大山寺を訪れることについては。

大館 畜魂祭は、和牛博覧会初の試みと聞いています。私自身、牛馬の繁栄のご祈禱はよく承りますが、牛の魂を供養するのは初めてのことです。

大山寺には、牛の鼻輪の銅を溶かして造られた「宝牛」や、山門の右手に牛霊碑があることから、昔から牛の繁栄だけでなく、魂を慰めようという信仰も厚かったといえます。

畜魂祭では農家が飼育した牛の鼻輪を奉納し、護摩法要をします。全国の畜産農家の方にも大山寺の牛馬信仰の歴史を感じてもらいたいと思います。



牛馬守護札に大山ヨモギを乾燥させたモグサ（牛のエサ）を付けたものを、博覧会の参拝記念札として用意しているとのこと

町内のイベントを中心に紹介します

第9回全国和牛能力共進会

和牛博覧会

in とっとり



平成19年10月11日(木) ▶ 14日(日) 会場: 米子市・境港市・大山町

畜魂祭(牛の慰霊祭)・牛馬繁栄特別法要

日時 10月13日(土)

場所 大山寺・大山博労座

- ・大山寺の無料拝観
- ・ガイドボランティアによる無料観光案内
- ・大山の恵みからす天狗市

肉牛の部(名和わり会場)

全国から選りすぐりの枝肉のセリをご覧ください。西田佳樹さん(羽田井)の飼育した和牛が、県代表として出品されます!

日時 10月14日(日)

場所 名和農業者トレーニングセンター

- ・地元食材を使った山の汁・海の汁でのおもてなし(限定800食)
- ・お茶・赤飯などでの接待(一息坂峠の伝統行事)
- ・大山の恵みミニからす天狗市

種牛の部(米子メイン会場)

日時 10月11日(木) ~ 14日(日)

場所 米子市崎津住宅団地

「とっとり大地と海のフェスタ」

- ・大山町特産品(大山おこわ、飲むヨーグルト、お茶など)他、県内特産品の販売

「イベントステージ」(inとりモーステージ)(予定)

- ・大山僧兵太鼓の演奏
- ・「大山賛歌」コンサート など

「種牛の審査会」

- ・牛の総数313頭! 巨大テント内での審査がご覧になれます。
- ・大山町観光案内コーナー

【お知らせ】9月29日(土)の大山学講座で「牛馬市と牛馬信仰」と題し講演会があります。(5ページで紹介)